

## 令和５年度第１回県立都市公園利活用等推進有識者会議における意見等への対応状況

## 【高田松原津波復興祈念公園】

| 構成員からの意見   | 現在の対応状況  |
|--|--|
| <p>市民協働の取組の定着が課題であるが、全てを市民協働の団体で進めるのは難しいのが現実であり、行政が入って、行政と一緒に動くという意識を作っていくことが必要と感じている。さらに、市民協働に加えて、地元の企業等の参画ができる仕組みを検討してはどうか（park-PFI の考え方に近いようなものを検討できないか）。</p>                                 | <p>市民協働の取組の定着については、機械を使った草刈り等の管理作業は安全管理上、受入れ困難ですが、スイセンの植栽や防災キャンプの開催など、市民協働による賑わいづくりに取り組んでいます。</p> <p>企業の参画については、持続可能で柔軟な公園運営を行っていただけるように県と協議していきたいと思います。</p> |
| <p>利活用の推進に当たっては、エリアマネジメントの観点が必要であり、収益性をもった利用価値を高める取組が必要である。公園内の多様な環境を活かした利用価値が上がる工夫した取組を進めていただきたい（若手、女性等が積極的に公園を利用できる視点）。</p>  | <p>エリアマネジメントは、公園だけではなく、当該地域が震災復興からその先へ、どこを目指すのかという課題と考えますので、地域と連携して検討していきたいと思います。</p>  |
| <p>公園内の植栽管理に関し、予算等の制約を踏まえつつ、メリハリのある植栽計画を検討してはどうか。特に当該公園は良好な景観が重要な要素であることから、積極的に自然再生のコンセプトで管理するエリアを設けておく場所があってもよいと思う。</p>   | <p>「希望の架け橋」の基礎周辺は、雨水が溜まり池のようになるため、あえて草刈りをせずに残しておくことにより、生き物の棲みかとなっています。</p> <p>引き続き、積極的に自然再生のコンセプトで管理するエリアについて県と協議していきたいと思います。</p>                            |
| <p>Wi-Fi について、管理事務所会議室はもとより、公園全エリアで使えるようにしていただきたい。利用者がウォーキングし、花を見て、写真を撮影する。それを拡散することで地域の評価が高まっていく。利用者の中には、公園内の花をSNS（ソーシャル・ネットワーク・システム）上で掲載しようとする方もいると思われる。公園エリア全体でWi-Fi が使用できるようにするのがよいと考える。</p> | <p>会議室の Wi-Fi につきましては、利用者のニーズが高いため、引き続き、県に導入の検討をお願いしたいと考えております。</p> <p>屋外につきましては、公園内は携帯各社の通信エリアとなっており、モバイル通信だけで安定的に通信が可能です。</p>                              |